

第 18 回独立行政法人国民生活センター契約監視委員会会議議事概要

開催日	平成 24 年 10 月 15 日（月）	
場所	独立行政法人国民生活センター東京事務所 5 階特別会議室	
出席委員氏名	委員長 高橋 京太（独立行政法人国民生活センター監事） 委員 有川 博（日本大学総合科学研究所教授） 委員 山内 容（弁護士） 委員 竹内 啓博（公認会計士・税理士） 委員 島崎 芳征（独立行政法人国民生活センター監事）	
抽出案件	3 件	（備考） ・事務局から、今回の審議対象の契約件数等について報告した。 ・事務局から、第 2 四半期の契約の状況を踏まえ、一者応札・応募および随意契約を審議対象契約とした旨、報告した。
（内訳）		
一般競争入札	0 件	
随意契約	3 件	
	意見・質問	回答
委員からの意見・質問、それに対する回答等	平成 24 年度第 2 四半期に契約締結した抽出案件の審議内容は、別紙のとおり	平成 24 年度第 2 四半期に契約締結した抽出案件の審議内容は、別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

(別紙)

意見・質問	回 答
<p>【事案1】放射能測定装置(トリアスレーベクレルファインダー)ガンマ線解析ソフトウェアの改定</p> <ul style="list-style-type: none">・装置の調達時には、ソフトウェア改定をしなくても食品中の放射性物質の新基準値に適応した表示ができる仕様にはできなかったのか。・装置の調達時の状況等に鑑みれば、本件実施はやむを得ないと考えられるが、実施に至る背景や経緯、予定価格の妥当性等を検証し、整理しておいていただきたい。	<ul style="list-style-type: none">・調達当時の暫定基準値に基づく表示を有する仕様となっており、翌年4月の新基準値においても測定者が簡便に運用できることまでも求めることができなかった。・ご意見を踏まえ、本件実施に至る経緯等を再度検証し、整理しておくこととしたい。
<p>【事案2】東京事務所で使用する電気の供給</p> <ul style="list-style-type: none">・今回の入札不調による随意契約はやむを得ないものとする。引き続き、情報収集に努め、競争性を発揮できるよう取り組んでいただきたい。	<ul style="list-style-type: none">・次回の同様の調達においても、競争性を発揮できるよう、一般競争入札を実施することとしたい。
<p>【事案3】平成24年度「全国消費者フォーラム」の使用会場</p> <ul style="list-style-type: none">・一者応募はやむを得ないものとするが、仕様で定めている、複数同時に使用できる会場を有する施設がないか、引き続き情報収集に努めていただきたい。	<ul style="list-style-type: none">・引き続き、今後の調達において競争性が発揮できるよう、情報収集に努めることとしたい。